

# 端末の持ち帰りが進むと学びはどう変わるの？②

宗像市立河東西小学校

国が進めるGIGAスクール構想により、これからは、端末を持ち帰ることを前提とした学習（授業や家庭学習）が、スタンダードになっていきます。宗像市でも、9月を端末持ち帰りの移行期として、準備を進めています。

9月以降は、端末を持ち帰ることを前提とすることで、学校と家庭の学びが、これまで以上に効果的につながるようになります。端末持ち帰りを前提とした授業や家庭学習の在り方について、今後あらためてご説明いたします。

## コロナ禍の対応として

現在、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、マスクや密を避けるなどの対策とともに、体調が悪い時は、自宅で待機することが大切なことです。本人だけでなく、同居する家族が体調不良の場合も、自宅で待機していただくようお願いしています。そのような場合は、出席停止扱いとして欠席扱いにはなりません。また、登校に不安を感じられる場合も同様です。

このような状況の中、子どもたちの学びを継続し、つながりを維持するために、同意書等を提出いただいたご家庭は、端末を持ち帰ることができるようにしています。持ち帰りを希望されるご家庭は、担任へお申し出ください。

### 【今後、端末を持ち帰ってできること】

- ① 朝の会や、帰りの会などをGoogleミートでつなぎ、リモートで朝の会や帰りの会に参加する。
- ② AIドリル「ナビマ」を使って、国語、算数、社会、理科、英語の学習に取り組む。  
※教科は学年によって違います。
- ③ ロイロノートやGoogleクラスルームを使って、課題を受け取り、取り組んで、提出する。
- ④ Googleミートを使って、教室での学習にリモートで参加する。



現在、教室での授業と同時進行で、リモートでの学習の準備を進めているため、上記のことは、部分的、段階的に可能になっていきます。ご理解いただきますようお願い致します。また、学年の段階によってもできることは異なってまいります。できることから、順次進めてまいります。

具体的にどのように進めていくかは、担任にご相談ください。  
どうぞよろしくお願い致します。